

2010/11/23

2011 年度ハンググライディングシリーズ規則変更点

ハンググライダー競技委員会
委員長 板垣直樹

★ヒート制による国内ランキング 1 位の選手が 2 年間の通算による世界選手権選抜の選手と重複する場合は、次点以下を繰り上げ、国内ランキングから必ず 1 名代表を選出する。

★国内ランキングの世界選枠は 2 年間の累計とせず世界選前一年の単年とする。

★世界選手権で獲得したポイントは世界選手権選抜ランキングに計上できない。

★大会受付時にレスキューパラシュートのリパック時期をチェックする。ただし、初年度はペナルティを課さず、注意に留める。

★タスクコミッティとセーフティコミッティの負担を軽減するため、セットアップ場所について優遇措置を講じるよう各大会主催者に推奨する。

★デジタル航空無線所有者は大会参加時にスカイレジャー無線を借りなくてもよいことにし、エントリー費に含まれている JHF へのレンタル料 1000 円を返金する。

★シード選手のテイクオフ優先権を廃止する。

★ハンググライディングシリーズの得点集計について

(1) ハンググライディングシリーズランキングの計上本数を最大で 5 本とする。成立した全てのタスクをシリーズランキングの対象とする。DQ(デイクオリティ)が 0.5 以上のタスクの本数から計上本数を決定する。

DQ0.5 以上のタスク本数：計上本数

13 本以上：5 本

10～12 本：4 本

7～9 本：3 本

4～6 本：2 本

1～3 本：1 本

(2) デイクオリティに応じた 1000 点ノーマライズを廃止する。

(3) 選手のフライト得点に「参加人数係数」を乗じた値をシリーズランキングのポイントとする。

参加人数係数 = $1.0 - 0.01 \times (50 - \text{競技参加人数})$

ただし、最大値を1とする。

シリーズランキングポイント = 選手のフライト得点 × 参加人数係数